

EXHIBIT 4M TO MATSUDA
DECLARATION
(ORIGINAL)

Petition for *Inter Partes* Review of
U.S. Pat. No. 6,665,003

IPR2013-00326

EXHIBIT

Sony- 1122

From: Toshihiko YAMAKAMI <yam@nttmhs.tnl.ntt.co.jp>
Sent: Thursday, February 12, 1998 9:50 PM
To: vc@myo.inst.keio.ac.jp
Subject: [vc:00005] 98/02/12 meeting notes (draft)

サイバースペースと仮想都市研究会 関連各位

昨日の専門委員会の議事録案をお送りします。

コメントがあれば、山上(yam@nttmhs.tnl.ntt.co.jp)までお願いいたします。

山上俊彦

第4回仮想都市研究専門委員会議事録（案） 98.02.12 山上(NTT)

1. 概要

場所：大手町アーバンネットビル17F NTTマルチメディアビジネス開発部706会議室

時刻：1998年02月12日(木) 16:00-18:00

参加者：松下（慶大）、木下（NTT）、岡田（慶大）、根本（NEC）、宮崎（三菱電機）、椎尾（玉川大）、田中（NTT）、布川（宮教大）、宮里(ATR:代理 前川)、清末(NTT)、山上（NTT）

資料：4-1 仮想都市研究会連絡委員会資料 [山上]

4-2 第3回専門委員会議事録 [山上]

4-3 研究会法人会員入会のお願い（案） [山上]

4-4 3月研究会用研究会会員名簿 [山上]

4-5 電子情報通信学会IN研究会との交渉模様 [山上]

4-6 サイバースペースとグループウェア（案） [山上]

4-7 VR学会論文誌の特集編集について [山上]

4-8 仮想都市（サイバースペース）研究会第3回研究会開催要領（案） [布川]

2. 概要

2. 1 前回議事録

- ・共催については11月シンポジウム以外は合意ができていないので、単独開催とする。また担当幹事は9月宮崎幹事（三菱電機）、3月根本幹事、とする（第3回の決定と逆）。6月12日（金）（明石予定）[神田、浅野、金子、宮崎（沖電気）、山上]、9月18日（金）（横浜ランドマークタワー予定）[宮崎（三菱電機）、布川、松田、宮里]、2月26日（金）（NEC京阪奈予定）[根本、清末、佐藤、椎尾]とする。なお、1998年度は、連絡委員会を研究会後に開催する。9月の連絡委員会で年度計画の概要を議論し、11月の連絡委員会で次年度年度計画を決定する。明石開催が可能かどうかを神田幹事に問い合わせる [山上宿題]
- ・会の名称は「サイバースペースと仮想都市研究会」とし、投稿の活発化を図る。（合意）
- ・11月研究会の研究報告の余部は（松下）／70部程度（山上）／慶應大学にある（岡田）

2. 2 会員募集

- ・法人会員については主要企業に、お願い、申込用紙、請求書の3点セットを郵送する [山上宿題] / 法人会員への研究報告郵送は慶應松下研にお願いする。
- ・連絡委員で会員登録が未の委員には申込用紙と請求書を郵送する [山上宿題]
- ・年度末の会員登録が不利にならないように、会員登録は年度単位とし、現在の会員は1993年3月まで会員登録が有効とする。（合意）

2. 3 シンポジウム

- ・参加を促進するため、サイバースペースとコンテンツビジネスという観点から、松下委員長に「サイバースペースとコンテンツビジネス」という基調講演をいただき、さらに音楽(MCJ佐々木社長など)、新聞、美術館のようなコンテンツプロバイダ、さらにサイバースペースプロバイダに3社程度参加していただく。
- ・サイバースペースとコンテンツビジネス系の案を、3月12日の連絡委員会までに検討する〔山上宿題〕

2. 4 3月研究会

- ・印刷費が80部のほうが安ければ80部、そうでなければ100部〔椎尾委員宿題〕／今回は別刷はなし、別刷については印刷会社との個別交渉だったので前回はお金がからなかった(椎尾)／研究会案内、入会お願い、申込用紙を20日までに椎尾委員へ送る〔山上宿題〕
- ・1F正面玄関のみ入場可能。ここで入館のための受付が必要だが、研究会報告をわたしたりはできない(根本)対応のため、バイトを2名(1日1万円)慶應大学にお願いする(合意)
- ・PC Projector, OHPはあるがインターネットは難しい(根本)
- ・ハンコと請求書用紙を持っていく〔山上宿題〕
- ・名称は「サイバースペースと仮想都市研究会」、論文番号はCSV98-とする。(合意)

2. 5 VR学会論文誌特集編集

- ・連絡委員が編集委員となって98年10月締切、99年6月発行の論文誌特集号編集を推進する(合意)／資料中の(4)－(8)は4ヶ月ずつずらし、10月締切。
- ・Guest Editor が松下委員長、岡田幹事が編集幹事長となって進める。岡田幹事が編集スケジュールを決める、また募集要項を学会誌に掲載する〔岡田幹事宿題〕清末委員が査読、編集について問い合わせる〔清末委員宿題〕

以上